

不二健育会 特別養護老人ホーム ケアポート板橋

永盛敬太(職種/介護福祉士 /所属部署 特養)

功 績 永盛は、第2層協議体(支え合い会議舟渡)において自ら立候補し、2年間代表を勤めて参りました。今期においては、板橋区社会福祉協議会独自補助金事業(スポット事業)にも選ばれ、11月開催「いたばし社会福祉大会」では先駆的取り組みとして板橋区文化会館にて発表するなど、ケアポート板橋の知名度を確実に高めることができいております。スポット事業内「スポット舟渡ファーム」をきっかけに、地域包括相談、デイサービス利用へ繋がるなど、稼働増にも効果を齎している功績。

推 薦 者 小西誠之(特養/介護主任)

推 薦 理 由 ケアポート板橋の理念にあります「地域の要」を実践した事例であると思います。地域の方々が集う場として、また開かれた施設を目指すケアポート板橋の理念実現に近づけることができる活動であるとも考えます。地域貢献により、ケアポート板橋の存在意義とサービス利用に繋げることができた今回のこの事例は理事長賞に値すると思ひ、推薦させていただきます。

内 容

平成27年介護保険改正により、生活支援体制整備事業が地域支援事業に位置付けられました。地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター SC)を各地域に配置し、地域包括ケアシステムにおける互助の役割を担います。

CP板橋は舟渡地域における支え合い会議事務局機能としてその役割を担っており、今回推薦させていただきました永盛は、その代表を2年間担ってくれています。

コロナ禍においてもICTを活用し、毎月の定例会は止めず対応して参りました。

今後の発展を板橋区社会福祉協議会より評価され、独自事業である「スポット事業」の推薦を頂き、補助金活動が開始となります。永盛は会議メンバーの取り纏めをしながら、

①10の筋トレ②スポット舟渡ファーム③スポット舟渡カフェを立ち上げ、活動毎にコロナ禍で寸断されていた地域との繋がりを構築していきました。

その成果は板橋区社会福祉協議会で高く評価され、11月18日開催「板橋社会福祉大会」にて登壇。また、②スポット舟渡ファームは、認知症カフェ「ゆずり葉」さんの活動場所となり、

健康長寿医療センター研究所の「農福連携」のデータ収集に協力して欲しいと輪が広がりました。更には認知症当事者の方が農園活動に参加され、包括・舟渡デイが関り、介護保険サービス利用が開始になるなど、稼働増にも波及、ご家族からも「ケアポート板橋と関わられたことに感謝しています」とのお言葉をいただき、親身な対応が実践できた結果となりました。